

研究課題名	絶対的バイオアベイラビリティ推定式の妥当性および有用性の検証
研究責任者（所属）	倉田 賢生（薬剤部）
研究目的	新たに導き出された絶対的バイオアベイラビリティ(主に経口的に投与された薬の体内への吸収率(利用率)を示す指標)を推定するための式について、その妥当性および有用性を検証することを目的とします。
調査対象・期間・方法等	これまでにポリコナゾール（商品名：ブイフェンド）、レベチラセタム（商品名：イーケプラ）、リネゾリド（商品名：ザイボックス）、テジゾリド（商品名：シベクトロ）が投与され、静脈投与および経口投与時の定常状態の最低血中濃度が測定されている患者さまを調査対象とします。臨床情報としては、血中濃度、治療期間中の熱型、年齢、性別、体重、基礎疾患、喫煙の習慣の有無、併用薬、肝腎機能および治療効果判定の指標となる検査値等を後ろ向きに収集します。収集された臨床情報をもとに当該推定式の妥当性および有用性を検証します。
試料・臨床情報等の他の研究機関への提供および提供方法	該当ありません
個人情報の取り扱い	個人が特定できる情報の取り扱いは細心の注意をもって行い、収集されたデータは可及的速やかに連結不可能匿名化を行います。電子カルテへのアクセスおよび個人を特定できる情報の取り扱いは責任者のみが行います。研究成果を学会や学術雑誌で発表予定ですが、個人を特定できる情報を含まない形で行います。
利益相反	本研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画し実施するものです。本研究に関し開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	電話：092-632-1111(代) 担当者；薬剤部 倉田
備考	